

1 単元名 古典に親しもう 「万葉・古今・新古今」

2 目標

- 古典に興味をもち、古典と自分を結び付けたことを進んで文章に表そうとしている。
(国語への関心・意欲・態度)
- 文章の中に古典の世界を取り入れ、古典に関する簡単な文章を書くことができる。
(言語についての知識・理解・技能)

3 指導に当たって

(1) 教材観

本学習教材「万葉・古今・新古今」では、「万葉集」「古今和歌集」「新古今和歌集」という三つの和歌集から、それぞれ代表的な歌人の歌を取り上げている。自然や人間に対する愛情や情熱をおおらかに歌いあげた「万葉集」、人間の愛情や四季の風物を機知に富んだ表現で優しく細やかに歌った「古今和歌集」、華やかで技巧に優れた反面、しめやかで内省的な「新古今和歌集」というのが、歌集のおおまかな特徴である。生徒は、これらの歌から、時代を超えた人間としての喜びや恋しさ、心の動きを感じることができるであろう。そして、和歌の情景や作者の心情を、自分の知識や体験に結び付けることで、古典に親しむ態度が育つであろう。

(2) 生徒観

本学級の生徒の実態調査（平成23年9月15日実施、第3学年1組28人）では、「共感できる和歌を選び、その理由を自分の知識や体験から書くこと」について、共感する理由として、自分の知識や体験に結び付けられた生徒は8人、結び付けられない生徒は20人であった。このことから本学級の生徒は、古典を身近に感じるができず、自分の知識や体験に結び付けられないことが課題である。これは、これまでの古典の指導が語句や内容の説明にとどまり、生徒が古典に親しんで学習するための手立てが不足していたためと考える。

(3) 指導観

本単元では、和歌を友達に紹介するために、和歌を自分の知識や体験に結び付けて現代の場面に書き換える活動を展開する。まず、生徒が関心をもち、自分の知識や体験と結び付くような和歌をあらかじめ教師が吟味して提示する。提示する和歌は、人間や自然などの題材ごとにまとめ、現代語訳を付けることで、生徒が和歌の大体の内容をつかめるようにしておく。そして、提示した和歌の中から、自分の知識や体験と結び付けられそうな和歌を生徒が選び、和歌に表れた人間や自然に対する作者の思いを想像していく。次に、和歌の情景や作者の心情を自分の知識や体験と結び付けて表現しやすい文章の形態で書き換えていくようにする。最後に、友達の書いた文章を読み合う活動を通して、いろいろな題材の和歌に触れ、和歌に表れた人間や自然に対する作者の思いと自分たちとの結び付きに気が付けるようにする。このように、目的意識をもって和歌を書き換える活動を通して、古典に親しむ態度を育てることができるようになる。

4 単元の評価規準

ア 国語への関心・意欲・態度	オ 言語についての知識・理解・技能
・和歌と自分を結び付け、考えたことを文章に表そうとしている。	・文章の中に古典の世界を取り入れ、古典に関する文章を書いている。

5 指導計画（6時間扱い）

次	時	学習活動・内容	指導上の留意点
一	1	<p>1 和歌に関心をもつ。</p> <p>(1) 和歌が自分の知識や体験に結び付いていることを知る。</p> <p>(2) 和歌を現代の場面に置き換える。</p> <p>3 単元の学習課題を考える。</p> <p>和歌を友達に贈ろう。</p>	<p>○和歌を現代の場面に置き換えた手紙風の文章を提示し、古典が自分の知識や体験に結び付くことに関心をもたせる。</p> <p>○和歌の現代語訳の一部分を空欄にし、どんな語句をあてはめるか考えながら、共感できることを見いだせるようにする。</p> <p>○和歌を現代の場面に書き換えて文集にまとめるための見通しがもてるようにする。</p>
二	2 ・ 3	<p>1 本時の学習課題をつかむ。</p> <p>和歌を選ぼう。</p> <p>2 和歌を音読しながら、和歌の情景や作者の心情をつかむ。</p> <p>3 紹介する和歌を選ぶ。</p>	<p>○提示する和歌は、生徒の実態をふまえて選んでおく。</p> <p>○和歌に現代語訳を付けたプリントを配布し、音読をしながら情景や作者の心情をつかめるようにする。</p> <p>○リズムや言葉の響き、和歌の内容、自分の知識や経験との結び付きなどを和歌を選ぶ観点とする。</p> <p>○紹介する和歌を選べない生徒には、和歌の題材と生徒の関心のあることを結び付けられるよう声をかける。</p>
	4 (本時)	<p>1 本時の学習課題をつかむ。</p> <p>選んだ和歌を現代の場面に書き換えよう。</p> <p>2 様々な文章の形態の特徴を話し合い、和歌の内容に合うものを選んで現代の場面に書き換える。</p> <p>3 本時の活動を振り返る。</p>	<p>○それぞれの文章にはどのような特徴があるか、見本や文章を書いた経験を基に話し合い、全体で確認できるようにする。</p> <p>○和歌を友達に紹介するための書き換えであることを確認し、自分がとらえた作者の心情を損なわずに書けるようにする。</p> <p>○見本を掲示しておくことで、文章を書くことに抵抗のある生徒が書き出しや文章構成をつかめるようにしておく。</p>
	5	<p>1 本時の学習課題をつかむ。</p> <p>見出しとあとがきを書こう。</p> <p>2 書き換えた文章を読み返し、見出しを考える。</p> <p>3 あとがきを書く。</p> <p>4 書いた文章の推敲をする。</p>	<p>○題名には、今後どんな時に読み返してほしい和歌か伝わるような文句を考えるようにする。</p> <p>○作者の思いを自分がどのようにとらえて紹介文を書いたのかをあとがきとしてまとめるように助言する。</p>
三	6	<p>1 本時の学習課題をつかむ。</p> <p>清書して読み合おう。</p> <p>2 清書用紙に書き、友達の作品を読み合い、感想を書く。</p> <p>3 単元のまとめをする。</p>	<p>○それぞれの生徒が書いた作品のよさを認め合い、より古典に親しめるようにしたい。</p> <p>○友達が書いた文章を読み、和歌と自分の結び付きに関して気が付いたことを中心に書くようにする。</p> <p>○三大和歌集の特徴や和歌の修辞をまとめる。</p>

6 本時の指導

(1) 本時の目標

日記・手紙・物語の文章の形態の特徴に応じて和歌を現代の場面に書き換える活動を通して、情景や作者の心情を自分の知識や体験に結び付けることができる。

(2) 準備・資料

和歌、和歌を日記・手紙・物語の文章の形態に書き換えた掲示物、原稿用紙（下書き用として、見出し・書き換えた文章・あとがきに区切ったもの）

(3) 展開

学習活動・内容	指導上の留意点						
<p>1 本時の学習の見通しをもつ。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">選んだ和歌を現代の場面に書き換えよう。</p> <p>(1) 和歌を現代の場面に書き換えることを確認する。 (2) 選んだ和歌を各自音読する。 (3) ワークシートで現代の場面の設定を確認する。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; padding: 5px;"> 【和歌】 時・場・人・出来事 </td> <td style="width: 33%; padding: 5px;"> 【作者の心情】 ・家族への愛情 ・桜を愛する心 </td> <td style="width: 33%; padding: 5px;"> 【現代の場面】 時・場・人・出来事 </td> </tr> </table>	【和歌】 時・場・人・出来事	【作者の心情】 ・家族への愛情 ・桜を愛する心	【現代の場面】 時・場・人・出来事	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習計画表を掲示して本時の課題を確認し、見通しがもてるようにする。 ○ 速さや句切れに気を付けて、和歌の情景や作者の心情を想像しながら音読できるようにする。 ○ 選んだ和歌の情景や作者の心情を数名に発表させ、それらを踏まえて現代の場面に書き換えることを確認できるようにする。 			
【和歌】 時・場・人・出来事	【作者の心情】 ・家族への愛情 ・桜を愛する心	【現代の場面】 時・場・人・出来事					
<p>2 日記・手紙・物語の文章の形態の特徴を話し合い、和歌の内容に合うものを選んで現代の場面に書き換える。</p> <p>(1) 見本を見て、日記・手紙・物語の特徴を話し合う。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td colspan="3" style="padding: 5px;">選んだ和歌</td> </tr> <tr> <td style="width: 33%; padding: 5px;"> 【日記】 ・自分が読む ・主語は「私」 ・出来事や気持ちを記録 </td> <td style="width: 33%; padding: 5px;"> 【手紙】 ・特定の相手 ・主語は「私」 ・伝えたいことがある </td> <td style="width: 33%; padding: 5px;"> 【物語】 ・不特定多数の人が読む ・人、時、場を設定する </td> </tr> </table> <p>(2) 文章の形態を選び、和歌を書き換える。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">天の海に雲の波立ち月の舟星の林に漕ぎ隠る見ゆ</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 【日記】 神無月二十日 今日、文化祭前で忙しい日だった。帰りはすっかり暗くなってしまったけれど、坂道でふと見上げると、空はまるで海のように広がっていた。波のような雲、舟のような月。今日の疲れも吹き飛びそうな夜空が…。 </p> <p>(3) 書き換えた文章を友達と読み合う。</p>	選んだ和歌			【日記】 ・自分が読む ・主語は「私」 ・出来事や気持ちを記録	【手紙】 ・特定の相手 ・主語は「私」 ・伝えたいことがある	【物語】 ・不特定多数の人が読む ・人、時、場を設定する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 和歌を書き換えた見本を掲示し、それぞれの文章の形態の特徴をつかめるようにする。 ○ 読書経験や文章を書いた経験なども想起させることで、書き換える文章の具体的なイメージをもてるようにする。 ○ 改まった手紙の書き方や、小学校で学習した物語の冒頭を紹介し、同じ文章の形態でも相手や目的によって、書き方を工夫できることに気が付けるようにする。 ○ 文章の形態を決めかねている生徒には、和歌をそれぞれの文体に書き換えたものを具体的に示し、その中から自分で選べるようにする。 ○ 和歌の情景や作者の心情から結び付けた自分の知識や体験を具体的に書いている生徒を適宜称賛し、学習のまとめで取り上げるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>〔評〕 和歌を現代の場面に書き換える活動を通して、情景や作者の心情を自分の知識や体験に結び付けている。（書き換えた文章）</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒同士で読み合い、感想やアドバイスを伝えることで、互いの書き換えた文章のよさを認め合えるようにする。
選んだ和歌							
【日記】 ・自分が読む ・主語は「私」 ・出来事や気持ちを記録	【手紙】 ・特定の相手 ・主語は「私」 ・伝えたいことがある	【物語】 ・不特定多数の人が読む ・人、時、場を設定する					
<p>3 本時の活動を振り返る。</p> <p>(1) 友達が選んだ和歌や書き換えた文章の紹介を聞く。</p> <p>(2) 振り返りを書く。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">書き換えてみて、昔の人も私と同じように広く美しい夜空を見て感動したことが分かった。以前、学校帰りに見た空はこの和歌の「星の林」にびったりで…。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒が書き換えた文章をクイズ形式で紹介し、どの和歌を基に書き換えた文章か生徒が考えながら聞くことで、友達が選んだ和歌にも関心もてるようにする。 ○ 和歌と自分のどんな知識や体験を結び付けて書き換えたのか、和歌の語句を使って振り返りを書くようにする。 						